

# ひろば てらん広場

とうじしゃめせん しょう ふくし かか しょうらいてんぼうけんとういんかい  
当事者目線の障がい福祉に係る将来展望検討委員会

だい かい れいわ ねん がつ にち  
第4回 (令和3年9月22日)

しりょう  
資料1

うんえい ほうじん しゃかい ふくし ほうじん どうあいはい  
運営法人 社会福祉法人 同愛会

りねん  
理念

じんせい そんざい しえん えんじょ  
人生(存在)への支援・援助

りぢちょう  
理事長  
しょざいち  
所在地

ゆーあーるえる

URL

たかやま かずひこ  
高山 和彦  
よこはまし ほどがやく かみすげたちょう  
横浜市保土ヶ谷区上菅田町1696

[https://www.douaikai.com/gaiyou\\_douaikai.html](https://www.douaikai.com/gaiyou_douaikai.html)

# てらん広場<sup>ひろば</sup>

▼開所<sup>かいしょ</sup>: 平成<sup>へいせい</sup>4年<sup>ねん</sup>

▼定員<sup>ていいん</sup>: 70人<sup>にん</sup>

(短期入所利用<sup>たんき にゅうしょりよう</sup>: 5568人/年<sup>にん ねん</sup> 15.3人/日<sup>にん にち</sup>)

▼地域生活移行<sup>ちいき せいかつ いこう</sup>: 300人<sup>にん</sup> (28年間<sup>ねんかん</sup>)

▼区分<sup>くぶん</sup>: 5.9 (平均<sup>へいきん</sup>)

▼強度行動障害<sup>きょうど こうどう しょうがい</sup>: 95%

▼年齢<sup>ねんれい</sup>: 29歳<sup>さい</sup> (平均<sup>へいきん</sup>)

▼在籍期間<sup>さいせき きかん</sup>: 5.5年<sup>ねん</sup> (平均<sup>へいきん</sup>)

# 利用者の暮らし

はたら  
働く

リサイクル工場・パン屋・畑…

か もの  
買い物

しょう てん がい  
商店街

さと がえ  
里帰り

じっ か  
実家

す  
住む

ひろ ば  
てらん広場

うさばらし

い ざか や  
居酒屋

りらくす  
リラックス

すー ぱー せんとう  
スーパー銭湯

おしゃれ

び よう しつ  
美容室



グリーン<sup>にんぐ</sup>ニング



ふれあい<sup>しゅうしゅう</sup>収集



リサ<sup>りさいくる</sup>イクル

# てらん<sup>ひろば</sup>広場の日中<sup>にっ ちゅう かつ どう</sup>活動



お菓<sup>かしづく</sup>子作り



ちゅうぼう<sup>しよくじづく</sup>厨房で食事作り

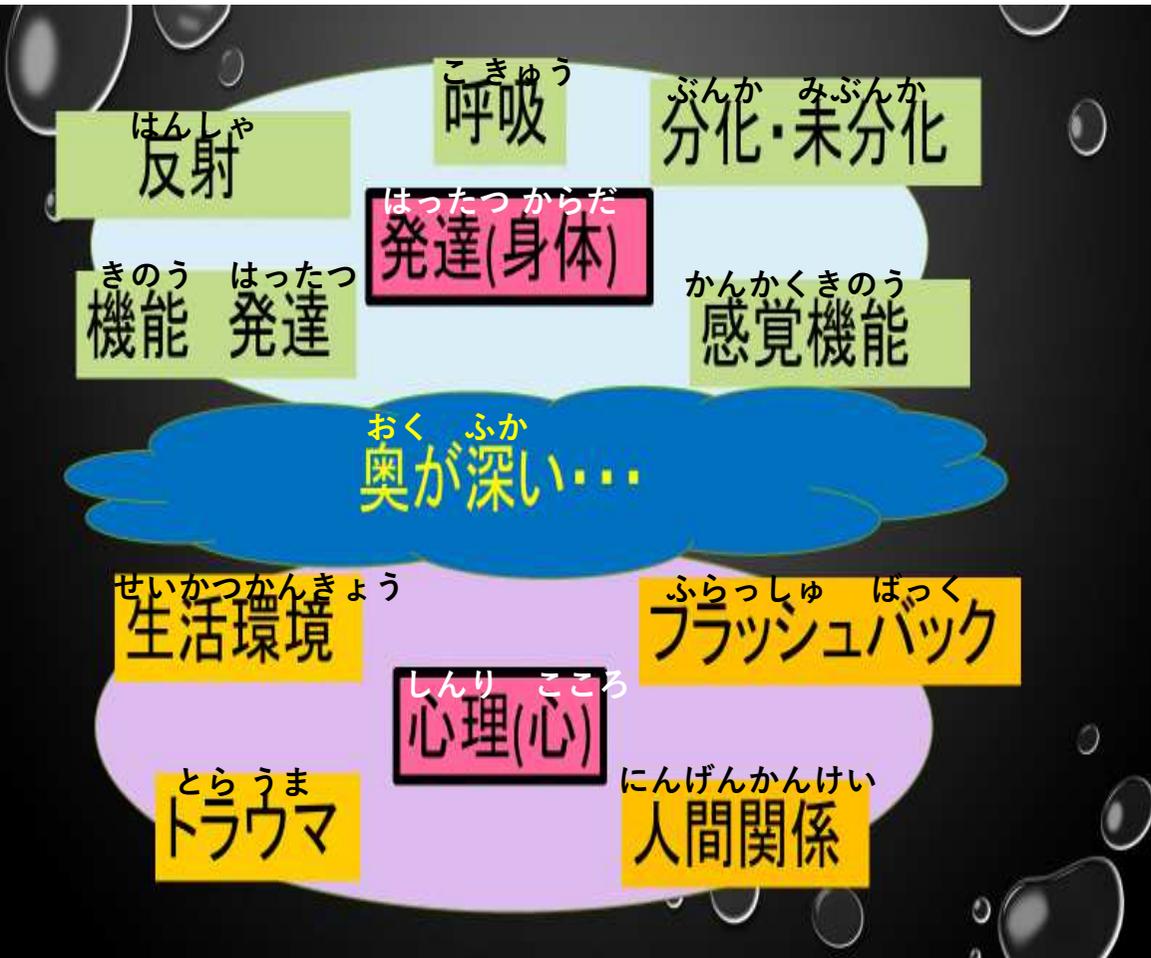


ぴーしー<sup>かいたい</sup> PC解体

# ちいき ひろ ひろば 地域へ広がるてらん広場

- てらん広場の先に19か所の日中活動場所  
（ひろば さき しょ にっちゅうかつどうばしょ）
- 日中活動場所は福祉サービス以外にも存在している  
（にっちゅうかつどうばしょ ふくし さーびす いがい そんざい）
- 日中活動の先に約500名、70ヶ所以上のグループホーム  
（にっちゅうかつどう さき やく めい かしょ いじょう ぐるーぷほーむ）
- グループホームの先に更なる日中活動場所が存在  
（ぐるーぷ ほーむ さき さら にっちゅうかつどうばしょ そんざい）

# てらん広場の考えるアセスメントとは



## 大切にしていること

- ▼ 出来ることが増えていく
- ▼ 居場所が増えていく
- ▼ 関わる人が増えていく
- ▼ 楽になっていく
- ▼ 意欲的になっていく

# てらん広場が大切にしていること。

## やくそく 約束

- ◆「新しい人生を作ろう」「有期限・有目的」の納得

## しょくじゅうぶんり 職住分離

## 職住分離

- ◆多様な居場所(仲間・職場・地域住民)
- ◆多くの出会い(連帯) → 自己肯定感UP

## このぞく こうちく 個々が望む暮らしの構築

- ◆自己実現・充実した余暇
- ◆グループホームなどの体験・建設

## たいせつ

## 大切にしていること

- ▼能力存在推定に立脚  
(知る・感じる・判断・行う…)

- ▼見立てのくり返し  
(行動・表情の意味・背景…)

- ▼意思の実現

- ▼依存先の拡充  
(より広い社会参加)

# ひろ ば ころろざし てらん広場の“志”

その為には・・・行き場を失った人たちが辿り着くのがてらん広場です。

てらん広場で心身ともに傷ついた利用者が人間としての尊厳を取り戻せる場所とする。

また、利用者に関わる職員も利用者（他者）と関わる中で、自らが成長できるような関わりと環境とする。

・何歳になっても利用者（他者）に対して新しい発見・出会いが出来る人間でいたい。

・利用者と怒り、悲しみ、喜び、時に慰め合える人間でありたい。

・言葉にならない思いを拾い集めることの出来る人間でありたい。

こんな思いを大切に利用者と歩みたい。

・障害があっても成長が出来ること、世界は限りなく広がっていくこと、そんな居場所を創ること、誰もが幸せを感じられる豊かな人生が送れる環境を創る。